

旭川医科大学病院遠隔医療センターが既に実施している拠点病院間との遠隔医療を地方病院や診療所等にまで拡大し、全国展開が可能な遠隔医療モデルを確立する。さらに、遠隔医療支援システムの普及促進を目指し、同システムの汎用化・標準化を行う。

## 実施内容

- 1 接続先**  
旭川医科大学病院遠隔医療センター、9病院、1診療所、在宅患者
- 2 検証内容等**  
遠隔医療支援システムに求められる性能的・機能的要件の調査  
  
地方病院や診療所に拡大した場合の有効性や実用性の検証するほか、画像伝送等に基づく遠隔診断支援や在宅療養支援の有効性・実用性の検証や医師や患者の満足度の評価  
  
遠隔医療が患者、医療機関、地域にもたらす効果を経済面から検証  
  
支援側の医師(専門医)の経験年数と効果の関係や、支援を依頼する医療機関側の検査機器等の設備・環境と効果の関係などの調査

## 事業イメージ

